

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

| | | | | | | | | | |
|------|------------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--|
| 政策 | 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 02 生涯学習の充実 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 03 生涯学習機会の充実 | | | | | | | | |
| 開始年度 | — | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | |

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

社会教育関係団体、学校教育団体及び一般市民

手段（事務事業の内容、やり方）

プロジェクターなどの機器は、社会教育活動を実施しようとする学校、社会教育関係団体、職場からの申請により貸出する。ビデオソフトなどの教材は個人へも貸出を行っている。また、視聴覚教育に必要な機器と教材を充実し、毎月発行の「情報図書館だより」と「じどうしつだより」により、小・中学校、幼稚園、保育園などに情報提供し、活用促進を図っている。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校等において、視聴覚教材を学習の補助教材としてわかりやすい授業実践のために活用するようになる。また、市民が自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標・事業費の推移

| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
|-----------|------------------|----|---------|---------|---------|---------|
| 対象指標1 | 市民 | 人 | 121,705 | 121,385 | 120,802 | 120,802 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | ライブラリー機器、教材の数 | 点 | 2,063 | 2,149 | 2,181 | — |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 利用者数 | 人 | 3,117 | 3,014 | 3,588 | 3,100 |
| 成果指標2 | ライブラリー機器、教材の貸出件数 | 回 | 2,963 | 2,871 | 3,450 | 3,000 |
| 事業費(A) | | 千円 | 703 | 613 | 834 | 686 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 3,210 | 4,008 | 3,907 | 3,912 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 3,913 | 4,621 | 4,741 | 4,598 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|---|-----------------|
| 25年度 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出 個人への教材の貸出 教材用DVDの購入 | 教材用DVD購入費 650千円 |

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 映像資料など教材の収集方針は、著作権上許可された教育的な映像のみとしている。 | |
| | |

| | |
|--|----------|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| 妥当である 妥当性が低い | 理由 根拠 |
| 教育的映像資料は、レンタル店でも調達が困難であり、これを市民に提供していくことは、市民の生涯学習の機会を広げる一助となっており、妥当である。 | |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| 貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業 | 理由 根拠 |
| 市民の生涯学習の機会を広げる一助となっており、貢献している。 | |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| 上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない | 理由 根拠 |
| 視聴覚機器はまだ高価であり、利用者数、貸出数とも増加している。 | |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし | 理由 根拠 |
| 時代に即した教材を取り揃え、最新機器を導入することにより積極的な利用が見込まれる。 | |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？ | |
| ある なし | 理由 根拠 |
| 生涯学習の推進のために、広く市民を対象に支援する制度であり、負担を求めることは難しい。 | |